

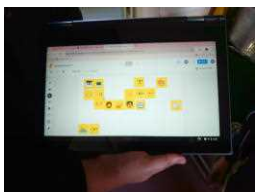
しまなみ

敷島南小学校
学校だより No.19
令和4年1月27日
学校長 丸茂和也

♪ 何も咲かない寒い日は ♪

秋から新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き始め、少しずつこれまでの日常を取り戻しつつ2学期を終えました。以前より安心できる状況で2学期を終え、気持ちも新たに3学期を…とっていたところに、冬休み明けころから新株の流行が見え始め、短い間に急にこれまで経験したことのない新型コロナウイルスの感染拡大という深刻な事態となり、全国そして山梨県も、もはやだれがかかってもおかしくはないという大変厳しい状況下にあります。予定していた行事も中止や延期を余儀なくされ、本日27日（木）からは夏休み明け以来2度目の分散登校の措置をとることになりました。

ご家庭では端末持ち帰りによる環境整備やパスワードの変更等様々なお願いをいたしますが、何とぞご理解ご協力いただけますようお願いいたします。



これまでに学級の閉鎖やスキー教室の延期、縦割り活動や部、クラブ活動などの中止など子どもたちや保護者の皆様にとって残念なお知らせばかりが続きました。落胆することが多かったと思いますし、この先いったいどうなってしまうのだろうか・・・と不安な毎日ではなかったかと思いますが、学校の職員も同じ気持ちで毎日を過ごしてきました。

そんな厳しい中ですが、私はつらく苦しい時に自分の中で思い浮かべて心の中でくりかえしている言葉があります。

それは

「何も咲かない寒い日は下へ下へと根を伸ばせ やがて大きな花が咲く」という言葉です。

これは、2000年のシドニーオリンピックで日本女子陸上種目で初めて金メダルをとった“Qちゃん”のという愛称で知られる高橋尚子さんが、高校の時の陸上部の監督さんから送られた言葉です。高橋さんは一生懸命練習に打ち込み、思うような結果が出な



いときもひたすら走りました。その練習量はマラソン選手の中でも抜群の多さだったそうです。シドニーオリンピックは真夏に行われました。私もテレビで実況を見ていました。暑い中マラソンはつらく苦しい競技だと思います。それにもかかわらず高橋さんはレース前に「あとたった42.195kmです」と言っていました。そしてレース後には「短く、楽しい42.195kmでした！」と明るいキラキラした笑顔で答えていました。それだけで終わらずにその後シドニーオリンピックの次の年にマラソンで2時間19分46秒という当時の世界新記録を打ち立てたのです。



高橋さんは高校の時は、全国都道府県対抗女子駅伝の県代表にぎりぎりで選ばれるのがやっとの選手で、全国大会の本番では9人に抜かれ、区間順位は全国で下から3番目の45位でした。そんなときでも高橋さんの心のパワーになったのが、監督から送られたこの言葉でした。高橋さんのマラソン人生を見てわかるように、最初から花が咲くことも、花をずっと咲かせることも難しいことです。太陽の光をあび水を吸って、しっかり根を張り成長してこそ大きな美しい花を咲かせることができます。

今はコロナウイルスの関係であせったり、あきらめたりしがちですが、苦しいときにふんばるからこそ、根がのびます。根をのばすことをやめなければ、やがて大きな花を咲かせることにつながっていきます。

こんな時期だからこそ、目の前のやるべきことに対して、一生懸命に集中して取り組む。そんな子どもたちでいてほしいと願っています。

本日から分散登校となります。子どもたちの健康管理、学習へのご協力などお願いすることばかりで大変恐縮ですが、保護者や地域の皆様をはじめとする多くの方のお力、お心をいただきながら皆でこの難局を乗り越えていきたいと思えます。重ねてお願いを申し上げます。

♪ お願いします ♪

・学校からのメールで、基本的な感染症対策、検査受検時などの改めてのお願いや、分散登校中の過ごし方等についてお知らせをしているところです。今後必要な連絡はメールで行いますので、ご覧くださりご協力いただけますようお願いいたします。



本校ではホームページを通じて、学校生活の様子を伝えています。ホームページの「お知らせ」のコーナーに最新の様子が掲載されています。是非アクセスしてみてください。

<http://www.city-kai.ed.jp/smscho/>

